

最上川・赤川の直轄(国による)改修事業の着手から100年 『シンポジウム』を開催いたします!

～ 大河と舟運とともに発展してきた歴史を振り返り、未来の庄内と水防災を考える ～

1917年(大正6年8月)に最上川及び赤川の工事直轄施行告示がなされ、同年9月に改修工事に着手して以来、2017年(平成29年)で100年を迎えます。

これを契機として、庄内地域がこれまで最上川・赤川と舟運とともに発展してきた歴史、水害に対する先人たちの取組を振り返り、未来の庄内地域と水防災を考えることを目的としたシンポジウムを開催します。

※「最上川・赤川直轄改修着手100周年記念事業実行委員会」は、1917年(大正6年)の直轄事業による最上川・赤川改修着手から2017年(平成29年)に100周年を迎えることから、これまでの河川事業の歩み、災害の歴史、河川工学上の技術、防災技術等ととりまとめながら、庄内地方の発展に寄与してきた最上川・赤川改修に関する100周年記念事業を実施することを目的とし設立されたものです。

1. イベント名 : 最上川・赤川直轄改修着手100周年記念シンポジウム
2. 開催日時 : 平成29年11月10日(金)13:00～16:30
(開場12:30 / 開会13:00)
3. 開催場所 : 酒田市民会館 希望ホール (山形県酒田市本町二丁目2番10号)
4. 開催内容 : ・空から見た最上川・赤川上映(ドローン空撮映像)
・基調講演(土岐田 正勝氏:酒田市文化財保護審議会会長)
・パネルディスカッション
 テーマ : 庄内地方の今昔
・その他、パネル展示を実施。
 パネル展テーマ : 歴史を振り返り、水防災を考える

※当日はカメラ撮影可能です。

※詳細は別添チラシをご覧ください。

最上川・赤川改修 100 年の歴史等は、酒田河川国道事務所ホームページにてご覧いただけます。

<http://www.thr.mlit.go.jp/sakata/river/kaisyu100nen/index.html>

(発表記者先) 酒田記者クラブ、鶴岡記者会、エフエム山形、酒田エフエム放送

《 問い合わせ先 》

国土交通省 東北地方整備局 酒田河川国道事務所
〒998-0011 酒田市上安町一丁目2番地の1 TEL0234-27-3331(代表)
副所長(河川担当) たかはし はじめ 高橋 一 (内線 204)
調査第一課長 おやまだ ひとし 小山田 等 (内線 351)



Mogamigawa
Akagawa
Symposium

シンポジウム

最上川・赤川直轄改修着手100周年記念

11月10日 金

日時 平成29年 13:00~16:30 [開場 12:30]

会場 酒田市民会館「希望ホール」 **参加無料**

第一部：基調講演

[講演者] 酒田市文化財保護審議会 会長
土岐田 正勝 氏

第二部：パネルディスカッション

[コーディネーター] フリーアナウンサー
佐藤 暁子 氏

[パネリスト] 山形大学 名誉教授
前川 勝朗 氏

旧庄内藩主酒井家18代当主
公益財団法人致道博物館 代表理事
酒井 忠久 氏

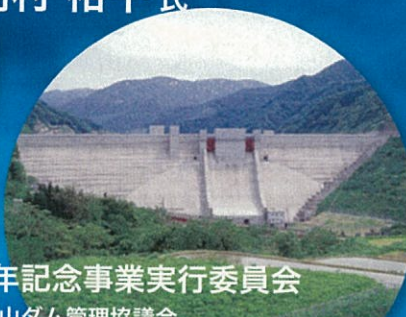
酒田まちづくり開発株式会社 代表取締役
NPO法人 パートナシップオフィス 理事長
西村 修 氏

株式会社出羽庄内地域デザイン
代表取締役 クレードル編集長
小林 好雄 氏

[アドバイザー] 国土交通省 東北地方整備局
河川部長
高村 裕平 氏

大河と舟運とともに発展してきた歴史を振り返り、
未来の庄内と水防災を考える。

同時開催
パネル展
空から見た最上川・赤川
の映像も見られます。



主催／最上川・赤川直轄改修着手100周年記念事業実行委員会

最上川下流改修促進期成同盟会、赤川治水対策・月山ダム管理協議会
山形県庄内総合支庁、鶴岡商工会議所、酒田商工会議所、(一社)東北地域づくり協会 山形支所
国土交通省東北地方整備局酒田港湾事務所、月山ダム管理所、酒田河川国道事務所

[お問い合わせ先: 国土交通省 東北地方整備局 酒田河川国道事務所 調査第一課 TEL.0234-27-3471]

[会場のご案内]



※市役所、ホール駐車場以外に駐車したお客様には、お帰りの際、受付窓口において、駐車券の提示にて無料駐車券をお配りします。
なお、市役所の駐車場には限りがございますので、公共交通機関をご利用ください。

最上川・赤川直轄改修着手100周年記念



シンポジウム

大河と舟運とともに発展してきた歴史を振り返り、 未来の庄内と水防災を考える。

プログラム | *program*

- 12:30 開場
- 12:45 空から見た最上川・赤川上映
～ドローン空撮映像～
- 13:00 オープニング(挨拶)
- 13:50 第一部
基調講演
最上川と庄内への想い
- 15:10 第二部
パネルディスカッション
～庄内地方の今昔～
- 16:30 閉会

profile | 出演者紹介

基調講演者



酒田市文化財保護審議会 会長

土岐田 正勝 氏 (ときた まさかつ 氏)

1937年酒田市亀ヶ崎に生まれ。高校社会科(日本史・地理)教員として勤務し、その後、酒田市立光ヶ丘文庫古典籍調査員を務める。2003年より東北公益文科大学非常勤講師(歴史概説担当)として従事し、2005年「阿部次郎文化賞」受賞。酒田市文化財保護審議会の会長を務める。

コーディネーター



フリーアナウンサー

佐藤 暁子 氏 (さとう あきこ 氏)

テレビ・ラジオ・雑誌出演の他、呼吸法や話し方トレーナーとして活動。羽黒修験秋の峰に入峰、信仰や観光の面から聖地と人を繋ぐ活動にも力を注ぐ。

「いせ もうで でわ まいる」(山形空港利用拡大推進協議会/国土交通省地方路線活性化プログラム)アドバイザー、『第36回全国豊かな海づくり大会やまがた 海上歓迎・放流行事』司会他多数。

パネリスト



山形大学 名誉教授

前川 勝朗 氏 (まえがわ かつろう 氏)

河川研の開祖。1991年に学科改組に伴い、河川環境学研究室を立ち上げ、山形県のあらゆる用水施設に尽力を尽くす。農学博士として山形大学農学部教授、岩手大学連合農学研究科教授などを勤め、退職後は、山形大学名誉教授として現在に至る。



旧庄内藩主酒井家18代当主

公益財団法人致道博物館 代表理事

酒井 忠久 氏 (さかい ただひさ 氏)

旧庄内藩主 酒井家17代当主・酒井忠明の長男として生まれる。1992年致道博物館館長に就任し、2004年には、亡くなった父の跡を継ぎ松ヶ岡開墾場第4代総長として就任する。現在は日本美術刀剣保存協会会長も務める。



酒田まちづくり開発株式会社 代表取締役

NPO法人 パートナーシップオフィス 理事長

西村 修 氏 (にしむら しゅう 氏)

「心豊かで繁栄のある地域づくりを創造する市民企業」を掲げ、「山王くらぶ」「旧燈屋」をはじめとする酒田市内の観光施設の管理運営や、お土産の開発・販売などの観光関連事業に携わりながら、地域づくりを考え、日々、地域の魅力を発信している。



株式会社出羽庄内地域デザイン

代表取締役 クレードル編集長

小林 好雄 氏 (こばやし よしお 氏)

庄内の魅力を地域内外に隔月で発信する、出羽庄内地域文化情報誌Cradle(クレードル)の編集長。庄内の自然、そして歴史の中で育まれた固有の文化など、地域の魅力、価値資源を掘り下げ、庄内地域のみならず、内陸、仙台圏、首都圏など広く発信している。

アドバイザー



国土交通省 東北地方整備局

河川部長

高村 裕平 氏 (たかむら ゆうへい 氏)

同時開催 パネル展 [会場]ロビー【ホワイエ】

[タイトル]

歴史を振り返り、水防災を考える

最上川・赤川における先人たちの努力と知恵による100年の歩みを振り返り、庄内地方の発展とこれからの水防災を考えます。

